

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (※ 取組の取得経緯があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	あらゆる雇用条件で差別しない体制をとっている。利用者の方にもジェンダーフリーの観点から仕事内容などの選択時にご本人の意思を尊重しながら一緒に決定している。													5.1	8.5	10.2								16.1		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	虐待等防止責任者を定め、年4回の研修と年4回のハラスメント対策の研修を行っている。														5.1	8.5	10.3								16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	多様な働き方ができる勤務体制の整備、対応を行っている。														8.5	8.8										
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者なし					4.4									8.7	8.8	10.2	10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	車両点検を月1回行っている。ヒヤリハット等を用いて職員会で情報を共有し再発防止に動いている。					3									8											
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	職員は有給休暇を平等な権利として周知している。よって職員は他の職員に遠慮する事無く希望の日有給を取得している。随時、困りごと・悩み事を聞き取っている。					3																				
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材 (女性、外国人、障がい者、高齢者等) が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	利用者様・職員共に、個々の自由な発想を否定されず発言できる場がある。						5.1	5.5							8.5	10.2	10.3									
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社内研修の他、職務や役割に応じた外部研修に参加できるように取り組んでいる。					4	5.5								8	9										
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	管理者・サービス管理責任者・職業指導員など職責に応じて賃金が決められている。						5.5								8.5	10.2	10.3									
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ	年1回健康診断を実施している。					3									8											
		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	適正な方法で回収・処理している。廃棄物と処理する前に有効な利用方法はないか検討している。																	11.6	12.4		14.1					
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	無駄に使うことがないように気を付けている。使用料を把握し省エネに努めている。															7.3					13					
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	薪ストーブを使用している。仕事現場で出た木を使用するなど循環している。															7.2	7.3				12.4	13.3				
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	本事業所での仕事内容では取り扱いなし						3.9									6.3				11.6	12.4					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自然栽培でハーブを育てている。仕事現場で回収した草・木も畑などで使用し循環させたり、土壌の改善に役立っている。							6.6											15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	仕事現場で飲むお茶は、煙で育てたハーブなどをブレンドしポットに詰めて皆で飲んで、リサイクルに努めている。											12.5		14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	利用者様・職員共に市の出張出前講座を受講し水の大切さを意識している。							6.4 6.6													
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	事業所の業態から該当しない。			3.9				6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後HPやSNS等で積極的に開示予定。													12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	仕事現場から出た廃棄物を薪として利用したり、煙で循環させている。								7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	仕事現場から出た廃棄物を薪として利用したり、煙で循環させている。													12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	法令順守マニュアルを作成して法令順守にのっとった運営をしている。																			16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	工賃を一定にして常に決められた工賃を支払っている。お客様に対してサービスの価格を事前に周知し、常に一定な価格でサービスを提供している。																				16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	HPやSNS発信は著作権等に配慮する。当事業所は知的財産を所有していない。									8.2 8.3	9										
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	利用者様・職員共に入所時及び入社時に個人情報の取り扱いを説明して対応している。一定な場所管理している。																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当事業所において紛争鉱物とは関係がない。																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5				8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】今後作成予定。協力している所や取引先の了解を得てネットワーク情報をHPで公表する予定。			3						8	9	10									17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	事業所内や関係機関と随時連携している。農業や肥料を使用しない自然栽培をしている。井戸水を使用し、水質管理もしている。			3.9									12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	事業所内や関係機関などと連携を取り合い、改善点など話し合っている。									9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	仕事現場で産廃になる草・木を利用し土壌の改善に役立てている。						6						12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	地域のお年寄りやしょうがい者のお困りごとをよく聞いてそれに答えるサービスも展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業所がある地域住民の方や企業からお仕事をいただき、利用者様も職員も直接地域の方とかわりを持つことができている。				4					9		11	12		14	15	17			
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地区の緑地の管理をボランティアでやっている。				4							11			14	15		17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	事業所でお酒に飲むみそ汁の味噌を麹から作っている。畑で栽培している自然栽培のハーブや薪を外商している。薪ストーブを利用している。									8	9		11	12	13					
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内と共有している	基本	共有している。HPにアップする予定。										8	9							17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守マニュアルを作成済み。職員会で共有している。																		16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	安全運行管理者、虐待及び身体拘束矯正委員、サービス管理責任者。苦情・感染症委員。																		16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	当社の活動がなるべく地域社会に貢献することを目指しています。利用者様に対する教育支援につなげる。																		16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																			16	
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																			16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	避難訓練を実施している。市の出張出前講座を利用し、利用者様・職員が皆で意識を持てるようになっている。BCPを作成中。										9		11			13	13.1		16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ										8	9								17	

上記以外で設定した取組項目		独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**  
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)  
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。  
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成  
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載  
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定